

第1学年	技術・家庭科				
授業細目	単元	並び順	配当時間数	学習活動	評価規準など
技術	技術分野のガイダンス	1	1	○技術の発達と生活や産業の変化、技術と環境、持続可能な未来について考える。 ○3年間の技術の学習内容を知る。	【態】技術が人間の生活を向上させ、我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割に関心を示している。 【態】技術が環境問題の原因と解決に深くかかわっていることに気づき、技術の進展と環境との関係について関心を示している。
技術	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み「材料と加工」	2	2	○身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解する。 ○身の回りの製品に使われている材料と加工の技術を調べ、まとめる。	【知】材料の特性と加工方法について知識を身に付けている。
技術	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み「構造」	3	1	○構造と部材を丈夫にする方法について理解する。 ○身の回りの製品を丈夫にするための方法を調べ、まとめる。	【知】製作品の強度について知識を身に付けている。 【思】問題と課題を設定し、材料の特性や構造を考慮した製作品を構想できる。 【態】材料の特性、製作品の構造に興味をもち、身の回りの製作品のよさや改善点を考え、製作品の構想に意欲的に取り組もうとしている。
技術	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み「製図」	4	4	○製作に必要な図の書き方を理解し、図に表す。	【知】製図の知識を身に付け、物体を正投影図で正しく表現できる。
技術	材料と加工の技術による問題解決「構想」	5	3	○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見する。 ○問題を解決するために、自分なりの課題を設定する。	【思】生活の中から材料と加工に関わる問題を見だし、課題を設定し、解決するための製作品を構想することができる。 【態】材料や構造についての知識をいかし、問題を解決するための製作品を構想図に表そうとしている。
技術	材料と加工の技術による問題解決「設計」	6	3	○材料の選択や成形の方法などを構想して設計を具現化する。	【思】設定した問題を解決するための製作品を図面に表し、材料取りを行うことができる。 【態】設定した問題を解決するための製作品を、図面のきまりに従って表そうとしている。
技術	材料と加工の技術による問題解決「けがき」	7	3	○設計通りに仕上がり寸法線と材料取り寸法線をけがく。 ○工具や機器を安全に使用方法や技術室の安全のための決まりを学ぶ。【安全】	【知】けがきの知識を身に付けている。 【知】図面通りにけがきがができる。 【態】けがきの知識をいかし、製作に意欲的に取り組もうとしている。
技術	材料と加工の技術による問題解決「切断」	8	3	○材料取り寸法線の上をまっすぐ切断する。 ○工具の正しい使い方を理解し、作業に適した服装を身に付ける。【安全】	【知】切断の知識を身に付けている。 【知】材料取り寸法線をまっすぐ切断ができる。 【態】切断の知識をいかし、製作に意欲的に取り組もうとしている。
技術	材料と加工の技術による問題解決「切削」	9	4	○仕上がり寸法線に沿って、切断面をなめらかに削る。 ○工具の正しい使い方を理解し、作業に適した服装を身に付ける。【安全】	【知】切削の知識を身に付けている。 【知】仕上がり寸法線に沿って切削ができる。 【態】切削の知識をいかし、製作に意欲的に取り組もうとしている。
技術	材料と加工の技術による問題解決「組立て」	10	4	○くぎをまっすぐ打ち、設計通りに部品を組み立てる。 ○工具の正しい使い方を理解し、作業に適した服装を身に付ける。【安全】	【知】組み立ての知識を身に付けている。 【知】図面通りに組立てることができる。 【態】組立ての知識をいかし、製作に意欲的に取り組もうとしている。
技術	材料と加工の技術による問題解決「仕上げ」	11	3	○表面がなめらかになるように仕上げる。 ○工具の正しい使い方を理解し、作業に適した服装を身に付ける。【安全】	【知】仕上げの知識を身に付けている。 【知】使うことを考えた仕上げができる。 【態】仕上げの知識をいかし、製作に意欲的に取り組もうとしている。
技術	材料と加工の技術による問題解決「問題解決の評価、改善・修正」	12	1	○製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考える。	【思】製作品をふり返り、新たな問題、課題を設定することができる。 【態】学習内容を踏まえた製作品のふり返りを行い、生活や社会の中で役立てようとしている。
技術	社会の発展と材料と加工の技術	13	1	○材料と加工の技術の最適化について考える。 ○これからの材料と加工の技術について考える。	【思】これからの社会における材料と加工の技術について考えることができる。 【態】学習内容を生活や社会の中で役立てようとしている。
技術	情報の技術の原理・法則と仕組み「情報モラル」	14	2	○情報の特性を理解して、情報の安全な利用について考える。○情報が社会	【態】情報モラルについて意欲的に考え、実践しようとしている。
家庭	1編1章 家庭分野のガイダンス①自立と共	1	1	・自分の成長を振り返り、自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられていることに気づく。 ・これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習内容を振り返る。 ・中学校での学習内容に興味を持ち、3学年間の学習の見通しを持つ。【キャリア】 ・各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。(知) ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。(知) ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。(知)
家庭	1編2章 私たちの家族と家庭生活①私た	2	2	・中学生になった自分と家族の生活を振り返り、家庭における自分の役割に気づかせる。その際、小学校家庭科やガイダンスの学習を振り返るなどして、家族や地域の一員としてできることを具体的に考えられるように工夫する。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解できるよう、具体例を挙げる。 ・家族や家庭の機能は衣食住などの生活の営みによって支えられていることに気付かせる。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。(知) ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。(知) ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。(知)
家庭	2編1章 食事の役割と中学生の栄養の特	3	1	・食事の役割についてまとめる、自分の生活で大切にしたいことを挙げる。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。(知)
家庭	2編1章 食事の役割と中学生の栄養の特	4	1	・食生活を点検し、課題を見つける。 ・心身の健康に良い食習慣について考える。	・健康によい食習慣について理解している。(知) ・自分の食習慣について問題を見だして課題を設定している。(思) ・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。(態)
家庭	2編1章 食事の役割と中学生の栄養の特	5	1	・栄養素の種類と働きについてまとめる。 ・体内での水の働きをまとめる。	・栄養素の種類と働きについて理解している。(知)
家庭	2編1章 食事の役割と中学生の栄養の特	6	1	・中学生に必要な栄養の特徴について考える。	・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。(知)
家庭	2編2章 中学生に必要な栄養素を満たす	7	1	・食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べる。 ・食品の可食部100gと1回に食べやすい量に含まれるカルシウムの量の違いを把握する。	・身近な食品の栄養的な特質について理解している。(知)
家庭	2編2章 中学生に必要な栄養素を満たす	8	1	・身近な食品を栄養的な特質により6つの食品群に分類する。 ・食品群別摂取量の目安と1日に必要な食品の種類と概量を知る。	・中学生の1日に必要な食品の種類とが医療について理解している。(知)

家庭	2編2章 中学生に必要な栄養素を満たす	9	1	・中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。	・1日分の献立を作成する方法について理解している。(知) ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	2編3章 調理のための食品の選択と購入	10	1	・食品を選択する観点について知る。 ・食品の表示について調べ、まとめる。 ・用途に応じた食品の選択について考える。	・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。(知)
家庭	2編3章 調理のための食品の選択と購入	11	1	・生鮮食品の特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。(知)
家庭	2編3章 調理のための食品の選択と購入	12	1	・加工食品の特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。(知)
家庭	2編3章 調理のための食品の選択と購入	13	1	・食品のさまざまな保存方法を知る。 ・食中毒の防止について考える。	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。(知)
家庭	2編4章 日常食の調理と地域の食文化①	14	2	・献立を決め、食品の調理上の性質を生かした調理の要点をまとめる。 ・調理実習の準備をする。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。(知) ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知) ・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。(思) ・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	3編2章 生活を豊かにするために①作って	15	8	・刺し子シューズ入れを製作する。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しを持つ。 【安全指導】 道具の安全な取り扱い	・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。(知) ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。(知) ・生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	2編4章 日常食の調理と地域の食文化②	15	2	・野菜・いもの調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、野菜・いもの調理をする。 【安全指導】 調理器具の安全な取り扱い、衛生管理、食物アレルギーへの配慮	・野菜・いもに適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知) ・野菜・いもの調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・野菜・いもの調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	2編4章 日常食の調理と地域の食文化③	16	2	・肉の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、肉の調理をする。 【安全指導】 調理器具の安全な取り扱い、衛生管理、食物アレルギーへの配慮	・肉に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知) ・肉の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・肉の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	2編4章 日常食の調理と地域の食文化④	17	2	・魚の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、魚の調理をする。 【安全指導】 調理器具の安全な取り扱い、衛生管理、食物アレルギーへの配慮	・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知) ・魚の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・魚の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	2編4章 日常食の調理と地域の食文化⑤	18	1	・地域の食材や季節の食材について調べる。 ・地域の食文化について調べる。 ・地域の食材を用いた和食の調理をする。	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。(知) ・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	2編5章 持続可能な食生活①持続可能な	19	1	・食生活を取り巻く問題を把握し、持続可能な食生活のためにできることを考える。【SDGs】	・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	食生活、環境	20	1	・学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族の食生活を見直す。【SDGs】 ・課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。 ・各自で実践したことをまとめ、発表し合う。	・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)
家庭	3編1章 衣服の選択と手入れ①衣服の役	21	1	・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。(知) ・目的に応じた着用について理解している。(知)
家庭	3編1章 衣服の選択と手入れ②私らしさと	22	1	・個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考える。	・個性を生かす着用について理解している。(知) ・目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)